

【 第7回 女子ユース世界選手権 】

2018年8月7日～19日

開催国：ポーランド・都市：キエルツェ

試合結果報告 8月16日（木）

JAPAN	VS	POL(ポーランド)
10	前半	12
9	後半	10
	第一延長	
	第二延長	
19	合計	22

個人得点

No.	名 前	前半	後半	合 計
1	千葉 夏希			0
2	橋口 和佳奈			0
4	辻野 桃香			0
5	阿部 美幸	4	2	6
6	伊藤 愛莉	3	2	5
7	服部 沙也加			0
9	安田 つぐみ			0
10	岡田 彩愛	2	4	6
12	榊 真菜			0
13	抜水 うらら	—	—	—
14	平野 宗香			0
15	谷藤 悠	1	1	2
16	柿添 まどか	—	—	—
17	紅林 詩乃			0
18	江本 ひかる			0
19	宇治村 唯			0
20	守屋 葵			0
21	上田 遥歌			0
	合計	10	9	19

戦評

最終戦は地元ポーランドと対戦。地元の大応援団の中試合は始まった。開始早々日本は、上田のポストプレーで7mTを獲得し、それを岡田が確実に決めた。そこから一進一退の攻防が続く。相手が鋭いミドルを決めれば、日本は伊藤のミドル、谷藤のサイド、阿部のカットインなどで応戦する。しかし17分7-8から日本がことごとくシュートを外してしまう。しかし、相手も日本のGK榊の好セーブに阻まれ、前半10-12の2点差で終える。

後半、岡田がカットから速攻で11-12とする。日本は紅林を投入して7人攻撃を仕掛けるが、そこから5本連続シュートをミス、それを得点につなげられて12-16となる。しかし、ここで相手が3人連続退場となる。相手が3人、4人、5人の時間が続き、上田のポストや阿部のカットインで応戦し、21分45秒に18-18の同点に追いつく。必死のDFを展開するが、速攻でのパスミス、シュートミスが続きどうしてもあと1点が取れない。徐々に焦りが出てきた日本。結果19-22で悔しい敗戦となった。

1点差、2点差、3点差という場面が随所にあったが、そういう所で決定打を欠き、波に乗り切れない試合であった。勝ち切れない悔しさを痛感した今大会であった。

この試合の日本のMVPは上田遥歌が獲得した。

報告記入者：

安藤 希沙